

## 第3次芦屋市地域福祉計画評価結果まとめ（平成30年度）

### 評価結果一覧

重点取組		記載数	A	B	C	
1 “みんなが思いやり・支えあう福祉”への理解を広げる	① ICTも活用し、情報を細やかに伝える取組を進めます	31	15	7	8	0
	② 地域福祉について学んだり、考えたりする機会を増やします		16	5	11	0
3 “できること・したいこと”での参加を進める	③ 「ひとり一役運動」を推進し、気軽に参加できる機会を増やします	23	4	0	4	0
	④ 身近な「つながりの拠点」づくりを進めます		13	5	7	1
	⑤ 健康づくりや生きがいづくりの活動を進めます		6	1	5	0
4 ニーズに気づき、支援につなぐ	⑥ “たすけ上手”や“たすけられ上手”な人を増やします	23	10	2	8	0
	⑦ 総合相談の仕組みとネットワークを充実します		13	6	7	0
5 多様な“困りごと”を包括的に支えるサービスや活動を充実する	⑧ 分野別計画を地域福祉の視点で推進します	27	12	4	8	0
	⑨ “複雑な困りごと”の解決に向けた取組を充実します		8	2	6	0
	⑩ 担い手の意識やスキルを高める取組を充実します		7	2	5	0
9 地域福祉をみんなで進める仕組みをつくる	⑪ 「地域発信型ネットワーク」を充実します	5	5	0	5	0
合計		109	34	74	1	

#### 【全体について】

各課の自己評価において、充実した取組を行ったA評価だったのは31%にとどまっており、どの項目においても通常通り取り組んでいるB評価が最も多く68%となった（残りの1%はC評価）。

#### 【重点取組③】

A評価が1つもなく、今後の取組については改善を図りながら進めていく必要がある。また、評価した課自体が少なかつたことから「ひとり一役活動事業」に限らず、できる人やしたい人の誰もが参加できる取組について地域福祉課と他課との情報の共有が必要。

#### 【重点取組⑧】

評価した課の3分の1がA評価としており、それぞれの部局において、地域福祉の視点を一部取り入れて実施されていることが確認できた。なお、福祉部と福祉部以外の部署にさほど差異はなかった。

#### 【重点取組⑨】

A評価の割合が低くなっているものの、他部署や他機関と連携して対応している課が多く見られた。残っている課題や次年度取り組みたいことにも関係機関との連携についての記載が多く、連携の意識がうかがえる。

#### 【重点取組⑩】

福祉部においてA評価もあったが、通常通りの取組に留まっている課が多く、担い手不足の課題も見られる。各課とも工夫・努力したことの欄に、スキルを高める取組についての記載が多い。